

刷	頁	箇所	誤	正	
1, 2刷	18	表2.1の2行目 安全性の行 照査指標の例	断面力, 応力	断面力, 応力度	
2刷	18	表2.1の5行目 耐久性の行の 耐腐食性の行 照査指標の例	腐食環境と塗装使用, LCC	腐食環境と塗装仕様, LCC	
1, 2刷	24	9行目	曲線はほぼ平行になり	曲線はほぼ水平になり	
1, 2刷	25	3-4行目	引張強度と降伏応力の比	降伏応力と引張強度の比	
1, 2刷	25	4行目	…が大きい。	…が小さい。	
1, 2刷	25	5-6行目	…伸びや降伏比は小さい。	…伸びが小さく, 降伏比が大きい。	
2刷	50	式(5.10)の 左辺	$\frac{dw^2}{dx^2}$	$\frac{d^2w}{dx^2}$	
2刷	57	下から3行目	…短柱実験に対する…	…短柱に対する…	
1, 2刷	86	図6.8(a) 一番上の 矩形の横幅			
1, 2刷	92	13行目	ここで t^* はせん断流である。	ここで t は板厚, t^* はせん断流である。	
1, 2刷	95	表6.3 断面二次モーメント の曲げ理論の式	$I_y =$	$I_z =$	
2刷	102	下から2行目	はりに曲げモーメントがする場合, …	はりに曲げモーメントが作用する場合, …	
2刷	106	2行目	ねじり定数が…	ねじり定数比が…	
2刷	128	5行目	…せん断応力 τ とすると	…せん断応力を τ とすると	
2刷	129	演習問題[8.1]	問題[7.3]で…	問題[7.1]で…	
1, 2刷	143	[9.3]2行目	75kN・m	40kN・m	
1, 2刷	148	下から3行目	…では0.4が用いられる。	…では0.4(道路橋示方書では接合面に無機ジンクリッチペイントを塗装した場合には0.45)が用いられる。	
1, 2刷	150	10.4.2 見出し (該当目次も修正)	母板および連結板の耐力	母板および連結板の有効断面積	
2刷	187	図13.1の下1行目	…, 還元材である…	…, 還元剤である…	
2刷	194	12行目	…全姿勢での…	…全ポジションでの…	
2刷	195	1行目	サブマージ溶接の…	サブマージアーク溶接の…	
2刷	195	13.4.2の2行目~3 行目の式の左辺	…熱量 H は $H(\text{J/mm}) = \dots$	…熱量 $H[\text{J/mm}]$ は $H = \dots$	
1, 2刷	199	1行目の式	$\frac{M_o}{5}$	$\frac{M_o}{4}$	
1, 2刷	215	[5.2]末の式	$0.860 \times 315 \times 1000 \times 25 = 6770\text{kN}$ $0.704 \times 315 \times 1000 \times 25 = 5540\text{kN}$	$0.860 \times 315 / 1.0 \times 1000 \times 25 = 6770\text{kN}$ $0.704 \times 315 / 1.05 \times 1000 \times 25 = 5280\text{kN}$	
1, 2刷	215	[5.4]1行目	Qファクター	Q_c	
1, 2刷	218	9章の解答下記のように全体を修正			

[9.1] $f_{vyd} = 365/\sqrt{3}/1.05 = 200\text{N/mm}^2$, $a = 6/\sqrt{2} = 4.24\text{mm}$, よって設計引張耐力は $200 \times 4.24 \times 80 \times 2/1.05 = 129\text{kN}$ となる。

[9.2] $f_{yd} = 365/1.05 = 347\text{N/mm}^2$ であるので, $347 \times 10 \times 80/1.05 = 264\text{kN}$ となる。

[9.3] $f_{vyd} = 245/\sqrt{3}/1.05 = 134\text{N/mm}^2$ であり, 展開断面の断面積は 5358mm^2 , 断面係数は $4.755 \times 10^5\text{mm}^3$ である。設計引張耐力 P_{rd} は $134 \times 5358/1.05 = 683\text{kN}$, 設計曲げ耐力 M_{rd} は $134 \times 4.755 \times 10^5/1.05 = 60\text{kN}\cdot\text{m}$ となる。

$$\gamma_i \left(\frac{P_{sd}}{P_{rd}} + \frac{M_{sd}}{M_{rd}} \right) = 1.2 \left(\frac{100}{683} + \frac{40}{60} \right) = 0.98 < 1.0$$

[9.4] $f_{vyd} = 134\text{N/mm}^2$, $A_w = 2120\text{mm}^2$ であり, 設計せん断耐力は $134 \times 2120/1.05 = 271\text{kN}$ である。式(9.1)に代入すると

$$1.2^2 \left\{ \left(\frac{100}{683} + \frac{40}{60} \right)^2 + \left(\frac{100}{271} \right)^2 \right\} = 1.15 > 1.0$$

となる。